



RIが1月を「ロータリー理解推進月間」と指定している背景には、この月間にあたり、各会員がロータリーについての知識と真髓をより一層深めること、そしてもう一つには、一般社会の人々にロータリーを如何に理解していただくかという、二つの面があるかと思われまふ。私達ロータリアンはその両面を考へて、ロータリーの素晴らしい理念を自分達の地域社会や国際社会で広め、実践して行くことが要請されています。

そこで、ロータリーを理解するにあたって、先立つことは、「ロータリーとは？」ということになります。その答えは「The Object of Rotary」「ロータリーの綱領」に集約されていますが、全国のクラブを対象にしたアンケート調査の結果、ロータリアンの半数以上の方々が、現行綱領の日本語訳は難解だと答えていらっしゃる。

私達はロータリーの会合で「奉仕の理想」という歌をよく斉唱します。一般市民の方から「奉仕の理想」とはどういう意味ですかと、聞かれた場合、明解に、かつ簡潔にお答えできるロータリアンは少ないのではないのでしょうか。ロータリーの基本的な理念と実践方法が述べられている綱領を、ロータリアンが読んでも、また一般市民の目から見ても、「もっと分かり易い日本語訳はないだろうか」ということについて、日本ガバナー会傘下の「綱領等翻訳問題調査研究委員会」において過去2年間にわたり、その検討を続けて参りました。そしてその結果を、昨年11月25-26日に開かれましたロータリー研究会で発表いたしました。日本ガバナー会及び理事諮問委員会へ答申されます新しい日本語訳案は次の通りです。

ロータリーの目的 (The Object of Rotary)

ロータリーの目的は、有益な事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育成する。特に次の各項を奨励することにある。

- 第1項：奉仕の機会を通して知り合いを広めること
- 第2項：奉仕の機会を通して、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、ロータリアン各自の職業において品位を保つこと
- 第3項：ロータリアン一人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活において、奉仕の理念を実践すること
- 第4項：奉仕の理念で結ばれた職業人が、国際ロータリーの活動を通して、国際理解、親善、および平和を推進すること

ロータリーの公式英文である「The Object of Rotary」の日本語訳については、日本のロータリアンの中で多様な解釈と翻訳案があります。上記の和訳案も時代の変化と共にこれから変わって行くかもしれませんが、より多くの人々にロータリーの目的と活動を、より良く理解して頂く上での一助となることを願っております。